

# 畜産みやぎ

題字 宮城県知事 本間俊太郎

発行所

仙台市青葉区上杉一丁目2番16号

法人 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 百井英一

定価 1部62円

印刷所 K K東北プリント



第7回青葉まつり ('91. 5. 18)

「仙台牛無料試食コーナー」

みんな、よっといで♪

仙台牛は美味しいぞ♪

## もくじ

畜産施策の基本方針	2
平成2年度家畜共済事業実績について	4
平成3年度生乳需給調整対策について	6
米国畜産の印象(3)	7
東北6県ホルスタイン共進会開催について	8
畜産試験場における平成3年度試験研究計画	9
日本脳炎について	10
随想	10
人の動き	10

## 畜産施策の基本方針

宮城県畜産課

### はじめに

畜産を取り巻く情勢は、この 4 月の牛肉の輸入自由化に象徴されますが、これまでの畜産振興事業団の売買取引がストップし、誰でもが一定の関税を支払えば牛肉の輸入が可能となるので、流通機構、価格に影響が出ると思われます。このため国においては肉用牛対策として 1,006 億円の予算を計上し、急激な変化による混乱が生じないように生産及び流通の合理化を図る各種の施策を講じ、県においても有効な展開を推進しております。また、ガット・ウルグアイラウンドにおける輸入制限問題も交渉が難航し、予断を許さない状況にあります。いずれにしても国際問題の背景には内外価格差の縮小を図ることが緊要ですので、今後とも一定の収益を確保しつつコストダウンを図る合理的経営を目指して行かなければなりません。

また、農村と都市の混住化による環境問題も大きな問題で、これまでの環境整備事業を始めとする公害対策により苦情の発生件数も減少傾向にありますが、今後とも対策を進めて行く必要があります。さらにこの面では日米構造協議の中で 430 兆円の公共投資を求められていることもあり、国では生活関連予算を確保してこれまでの環境対策から一歩先に進め、公共牧場の整備を始めとし、緑資源を都市住民に提供し、潤いややすらぎを覚えるような畜産環境整備に本格的に取り組んで行くことにしております。

従来の難しい課題としては、酪農家、養豚農家に代表される畜産農家の経営の離脱による戸数の減少問題がありますが、担い手の高齢化、3K イメージによる新規就農者の減少、計画生産の問題等多くの要素が複雑に交差し、ただ単に予算を増額し対策事業を進めると解決が図られるという性質のものではないので、このような認識を持ち、今後ともより良い畜産振興施策を模索しながら、各般にわたる事業の推進を図ってま

いります。

### 平成 3 年度畜産振興の基本方針と重点施策

#### 1. 基本方針

本県の畜産は、農業経営の複合部門として重要な位置を占めており、最近の食生活の多様化等を背景とする畜産物需要の伸び等に支えられ、農業粗生産額の 3 割を超えるまでに発展し、特に肉用牛は堅調な需要に支えられ本県農業の基幹作物となっております。

しかし、畜産を取り巻く諸情勢は、国内的には担い手の高齢化、新規就農者の減少、牛肉を除く部門における需給の不均衡、畜産物価格の低迷などの問題を抱え、対外的にも牛肉の輸入自由化が本年 4 月から始まり、輸入量増加と内外産地間競争の激化等、厳しい局面を迎えております。

このような情勢の中で、今後とも本県畜産を維持・発展させるには、担い手対策や畜産物の需給動向に即した生産、肉用牛輸入自由化関連施策の拡充、系統豚の普及・定着化対策を推進するとともに、生産性の向上を図るための新技術、新生産方式の開発・普及に取り組むことにより、一層の高生産・低コスト畜産を推進するなど、畜産経営の体質を強化することが課題となっております。さらに、近年、農村地域の混住化や都市住民の価値観の変化に伴い、豊かな自然環境を持つ農村地域に対する期待が高まっていることから、快適な畜産環境の整備や緑資源を活用した周辺環境の整備が求められております。

これらの情勢に対応するため、これまで多様化する消費者ニーズや市場動向に対応し、商品性の高い畜産物の生産を図るため、家畜生産能力の改善向上や本県の風土に根ざした特色ある産地、銘柄形成、畜産物の付加価値増進等を積極的に推進し、伝染病の発生予防等家畜の保健衛生対策を強化し、より一層消費者に好

発育促進・食欲増進・栄養補給に

# バイミルク

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全業工業株式会社

飼料は  まるきた印

採卵鶏用配合飼料  
 ブロイラー配合飼料  
 肉牛用配合飼料  
 乳牛用配合飼料

### 北日本飼料株式会社

石巻市川口町 3 丁目 2 番 8 号

TEL 石巻 0225 (22) 6111  
 FAX 石巻 0225 (22) 6116

まれる健全な畜産物の生産を促進してまいりましたが、平成 3 年度は、21 世紀を展望しつつ「国際化に向けた豊かな畜産の振興」を目指し、次の事項を重点施策として、畜産振興の諸施策を展開してまいります。

- 1 国際化に対応した活力ある肉用牛の振興
- 2 地域ぐるみの魅力ある畜産の展開
- 3 豊かな畜産を支える生産・環境基盤の整備
- 4 商品性の高い畜産物の生産と消費拡大対策の推進
- 5 先端技術の開発・普及と情報システム化の推進

2. 重点施策

(1) 国際化に対応した活力ある肉用牛の振興

本年 4 月からの牛肉輸入数量制限の撤廃等国際化の進展に対応した活力ある肉用牛の振興を図るため、肉用牛価格安定制度の円滑な運営を図るとともに、「みやぎ和牛の郷づくり」運動を一層推進し、肉用牛生産基盤の底辺拡大とコスト低減を図ります。また、商品性の高い「仙台牛」の産地育成と交雑種肉用牛やあか牛振興等による低コスト大衆牛肉の生産拡大を積極的に推進してまいります。

(2) 地域ぐるみの魅力ある畜産の展開

畜産物の産地間競争の激化、さらには海外からの輸入増加等に対応しうる本県畜産の体質強化を目指し、地域畜産活性化対策事業、畜産資材等効率利用推進事業を通じ地域ぐるみの高生産低コスト畜産経営の推進を図ります。また、酪農後継者等の円滑な就農を図るための体制の整備、系統豚ミヤギノの普及定着を始め S P F 豚の作出、体外受精技術の確立などの家畜改良の促進及び新しい畜種の導入により個性に満ちた魅力ある宮城の畜産の形成を図ります。

(3) 豊かな畜産を支える生産・環境基盤の整備

大家畜畜産のコスト低減、経営基盤の強化のため転作田等の有効利用や里山等未利用地の草地開発により飼料基盤の拡充を図ります。また、農村の都市化、混住化の進展により畜産経営環境の整備・保全に対する要請が高まっており、畜産経営の安定的発展を図るため畜産環境の整備を促進します。さらに各種伝染病

予防接種の徹底などにより家畜疾病による経済的損失を最小限に防止し、動物用医薬品の適正使用・流通を指導し畜産物の安全性を確保するなど豊かな宮城の畜産を支える生産・環境基盤の整備を図ります。

(4) 商品性の高い畜産物の生産と

消費拡大対策の推進

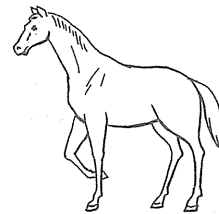
畜産物の需給動向を踏まえ、酪農、養豚、養鶏の計画的な生産を進める一方、多様化する消費者ニーズや市場動向に対応し商品性の高い畜産物の生産を推進します。また、全国に誇る「仙台牛」の銘柄確立を推進するとともに「宮城のフレッシュ牛乳」を始め県産畜産物の県内外における消費拡大対策を促進します。さらに畜産物流通の合理化を強化し、畜産物価格安定対策では肉用牛価格安定基金、畜産物価格安定基金、配合飼料価格安定基金、卵価安定基金等への畜産農家の加入を促進します。

(5) 先端技術の開発普及と情報システム化の推進

21 世紀を展望した本県畜産の飛躍的な発展と多様な展開を目指し、牛、豚の生産性向上と肉用牛資源の拡大を図るため、受精卵移植関連技術の実用化を促進するとともに、畜産農家が必要とする畜産経営・技術等の情報を迅速に提供していくための畜産情報システムの機能拡充を図ります。

(畜政係長 庄司 剛)

# 畜産振興の明日を担う地方競馬



## 地方競馬全国協会

動物用 (牛専用)  
医薬品

# トルラミックス

特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古川屋敷 9 番地の 1  
TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)



### 乳牛の生産性向上に

※乳房炎には  
くみあいイオサンGL  
—乳頭浸漬消毒剤—

※高泌乳牛には  
ミセスバターメイク  
—乳牛用サプリメント—

※食欲改善には  
デリーミッシュ  
—牛用飼料添加物—



農協・宮城県経済連・全農

## 平成2年度家畜共済事業実績について

宮城県農業共済組合連合会

平成2年度の引受並びに事故実績がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。

### 1. 引受状況

平成2年度の家畜共済加入状況は表1のとおりですが、前年度対比で、肥育牛、種豚で減少しましたが、

特定肉用牛等で4,114頭、肉豚で1,278頭、乳牛で422頭、一般馬で7頭増加し、合計では4,829頭増加しました。総共済金額では、10億657万円増の301億4,351万円となり、念願の300億円を達成することができました。

表1. 平成2年度家畜共済引受状況

項目 畜種	目標		平成2年度			平成元年度			増				減			
	頭数	共済額	頭数	共済額	平均共済額	頭数	共済額	平均共済額	実績				目標			
									頭数	共済額	平均共済額	達成率	共済額	達成率	共済額	達成率
乳牛の雌	30,000	6,000,000	26,805	5,035,878	188	26,383	4,943,310	187	▲422	▲92,567	1	▲3,195	▲89.4	▲964,122	▲83.9	
肥育牛	30,750	7,342,000	28,991	7,131,710	246	29,294	7,064,254	241	▲303	▲67,456	5	▲1,759	94.3	▲210,290	97.1	
特定肉用牛等	93,090	17,687,400	90,978	17,360,301	191	86,864	16,509,726	190	4,114	851,975	1	▲2,112	97.7	▲327,399	98.1	
胎児	40,070	—	38,273	2,616,350	68	36,407	2,493,674	68	1,866	122,676	0	▲1,797	95.5	—	—	
一般馬	120	75,000	125	83,288	666	118	72,750	617	7	10,538	49	5	104.2	8,288	111.1	
大家畜計	153,960	31,104,400	146,899	29,610,877	202	142,659	28,590,040	200	4,240	1,020,836	2	▲7,061	95.4	▲1,493,523	95.2	
種豚	10,670	639,600	5,304	315,404	59	5,993	353,059	59	▲689	▲37,655	0	▲5,366	49.7	▲324,196	49.3	
肉豚	16,000	256,000	14,235	217,228	15	12,957	193,840	15	1,278	23,388	0	▲1,765	89.0	▲38,772	84.9	
中家畜計	26,670	895,600	19,539	532,632	27	18,950	546,899	29	589	▲14,267	▲2	▲7,131	73.3	▲362,968	59.5	
合計	180,630	32,000,000	166,438	30,143,509	181	161,609	29,136,939	180	4,829	1,006,569	1	▲14,192	92.1	▲1,856,491	94.2	

※特定肉用牛等には、肉用種種雄牛を含む。


### 2. 事故状況

平成2年度の家畜共済事故は表2・表3のとおりですが、死傷事故は一般馬、種豚、肉豚で減少しましたが、夏場の猛暑の影響もあり、前年度対比では乳用牛で381頭、肥育牛で107頭、特定肉用牛等で225頭の増加となり、合計で575頭と大幅に増加しました。また残存物価格の低迷により、1頭あたりの支払共済金も増加し、支払共済金合計では1億9,276万増の9億7,929万円と前年度を大幅に上回る支払となりました。病傷事故は特定肉用牛等で、2,062件増加した以外は減少し、合計では件数で260件、支払共済金では3,886万8,000円増加し、7億8,158万円の支払となりました。

この結果、死傷病傷合せた支払共済金は17億6,087万円と前年度に比べ、2億3,163万円の大幅な増になり、家畜共済での収支は大幅な赤字を生じましたが、損害を受けた農家にとっては共済金は再生産の一部に活用され、共済制度の主旨が生かされたのではと思われます。

平成3年度は牛肉の自由化元年をむかえ、畜産情勢はより厳しいものがありますが、畜産農家の経営安定のため、引受拡大、事故防止に努力したいと思っておりますので、皆様方の一層のご指導とご協力を賜りたくお願い申し上げます。(家畜課長 菊地重夫)

正統の育ちと味



仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販光課内 TEL 022(264)8449~50

動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市青葉区上杉3丁目3-8

### 東北獣医薬品株式会社

TEL (25) 7330・7338・7339

仙台営業所 仙台市青葉区上杉三丁目3-8  
022(225)7338~9

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28  
0229(34)2018~9

仙北営業所 登米郡迫町佐沼字萩洗1  
0220(22)2278

表2. 平成2年度家畜共済事故実績表

Table with columns for畜種 (Livestock Type), 年度 (Year), 死産 (Stillbirth), 事故 (Accident), 病傷 (Disease/Injury), and 事故 (Accident). Rows include 乳牛の雌 (Female Dairy Cattle), 肥育牛 (Fattening Cattle), 特定肉用牛等胎児・出生子牛以外 (Specific Meat Cattle etc. excluding fetuses/born calves), 特定肉用牛等胎児・出生子牛 (Specific Meat Cattle etc. including fetuses/born calves), 一般馬 (General Horses), 種豚 (Breeding Pigs), 肉豚 (Meat Pigs), and 合計 (Total).

※病傷事故の特定肉用牛等(胎児・出生子牛以外)には、肉用種雄牛を含む。

表3. 平成2年度家畜共済死産事故主要疾病別発生状況

(乳牛の雌)

(肥育牛)

単位:頭

Table showing the occurrence status of major diseases in stillbirth accidents for female dairy cattle and fattening cattle. Columns include 順位 (Rank), 病名 (Disease Name), and 発生数 (Number of Occurrences) for various categories like 関節炎 (Arthritis), 乳房炎 (Mastitis), 骨折 (Fracture), etc.

(特定肉用牛等)

(種豚)

単位:頭

Table showing the occurrence status of major diseases in stillbirth accidents for specific meat cattle and breeding pigs. Columns include 順位 (Rank), 病名 (Disease Name), and 発生数 (Number of Occurrences) for categories like 胎児死 (Fetal Death), 新生児死 (Newborn Death), 心臓衰弱 (Heart Weakness), etc.

## 平成3年度生乳需給調整対策について

### 宮城県生乳販売農業協同組合連合会

平成2年度の生乳需給状況は、全国的な空梅雨や猛暑の影響で、飲用向生乳需要量は増量したものの、生乳生産量は大幅に落ち込み、全国でかなりの生乳が逼迫しました。

生乳生産の落ち込みの原因には、乳牛の夏バテ等もありますが、酪農収益性の悪化による生産意欲の低下や、後継者問題等による離農等が非常に問題になっております。

本県の生乳生産量は、全国に比べた場合、会員や生産者各位の努力もあり、ほぼ計画並に達成することが出来ましたことに、改めて感謝を申し上げます。(表

1)

さて、平成3年度の生乳計画生産は、新たに3ヶ年の中長期計画が樹立され、今年度は基礎枠で対前年比102.7%、又特別調整乳1,734tを含めた全体の目標数量は、184,088tで前年計画比101.8%、前年実績比102.7%となっており、現在の生産状況を考えた場合かなり高い目標数量となっております。(表2)

本年度は、本県酪農生産基盤の維持を図るために、新たに、生乳計画生産対策も実施致しますので、是非とも目標を完全達成していただくようお願い申し上げます。(販売課長 武田 良介)

表1. 平成2年度会員別生乳計画生産出荷実績

	生乳計画生産出荷目標 (t)			出 荷 実 績 乳 量 (kg)	前年比 (%)	計画比 (%)	超過乳量 (kg)	未 達 内 訳 (kg)	
	基礎目標	特 別 調 整 乳	出荷目標					基 礎 未 達 量	特別調整乳未達量
蔵王酪農	32,518	622	33,140	33,499,924.8	104.48	101.09	359,924.8		
宮城酪農	49,396	0	49,396	49,056,868.5	101.30	99.31	▲ 339,131.5	339,131.5	0
宮城経済連	32,998	537	33,535	32,750,051.0	100.27	97.66	▲ 784,949.0	773,126.0	11,823
仙台酪農	7,261	26	7,287	7,038,903.0	97.62	96.60	▲ 248,097.0	248,097.0	0
宮城県酪連	27,367	1,893	29,260	28,906,969.0	103.97	98.79	▲ 353,031.0	322,286.0	30,745
栗原酪農	8,327	98	8,425	8,427,037.0	103.09	100.02	2,037.0		
登米酪農	6,939	0	6,939	6,862,155.0	100.35	98.89	▲ 76,845.0	76,845.0	0
本吉酪農	6,081	88	6,169	6,107,020.0	102.98	99.00	▲ 61,980.0	61,143.0	837
遠田酪農	4,779	77	4,856	4,802,791.0	100.22	98.90	▲ 53,209.0	52,407.0	802
山田酪農	1,852	16	1,868	1,871,669.0	100.70	100.20	3,669.0		
合 計	177,518	3,357	180,875	179,323,388.3	102.03	99.14	▲1,551,611.7	1,873,035.5	44,207

表2. 平成3年度会員別月別生乳計画生産出荷基礎目標数量

(単位: トン)

	蔵王酪農	宮城酪農	県経済連	仙台酪農	県酪連	栗原酪農	登米酪農	本吉酪農	遠田酪農	山田酪農	計	
第1四半期	4月	2,798	4,265	2,871	629	2,444	715	610	531	410	157	15,430
	5月	2,981	4,510	3,051	655	2,599	739	630	563	420	163	16,315
	6月	2,823	4,225	2,897	639	2,475	707	608	529	409	156	15,468
	小計	8,602	13,000	8,819	1,927	7,518	2,161	1,848	1,623	1,239	476	47,213
第2四半期	7月	2,896	4,285	2,905	629	2,486	729	620	531	421	157	15,659
	8月	2,816	4,135	2,811	609	2,364	721	585	501	418	157	15,117
	9月	2,710	4,010	2,708	599	2,240	700	557	483	412	157	14,576
	小計	8,422	12,430	8,424	1,837	7,090	2,150	1,762	1,515	1,251	471	45,352
第3四半期	10月	2,759	4,157	2,820	589	2,340	713	567	502	418	161	15,026
	11月	2,610	3,990	2,695	570	2,179	700	545	472	408	157	14,326
	12月	2,769	4,205	2,820	599	2,339	719	588	509	418	162	15,128
	小計	8,138	12,352	8,335	1,758	6,858	2,132	1,700	1,483	1,244	480	44,480
第4四半期	1月	2,779	4,250	2,843	599	2,414	700	596	535	417	162	15,295
	2月	2,564	4,039	2,655	559	2,203	630	553	495	384	150	14,232
	3月	2,866	4,350	2,973	639	2,483	723	616	553	417	162	15,782
	小計	8,209	12,639	8,471	1,797	7,100	2,053	1,765	1,583	1,218	474	45,309
計	33,371	50,421	34,049	7,319	28,566	8,496	7,075	6,204	4,952	1,901	182,354	
特別調整乳	96	-	-	-	1,439	114	-	74	-	11	1,734	
合 計	33,467	50,421	34,049	7,319	30,005	8,610	7,075	6,278	4,952	1,912	184,088	

## 米国畜産の印象(3) (米国食肉輸出連合会= USMEF = United States Meat Export Federation) (その1)

秀島 理明

平成3年4月1日より牛肉の自由化が初まり、一部のスーパーにより安売りが実施され消費者に喜ばれたと聞いているが、USMEFも国内消費者に対し、積極的な消費宣伝、広報活動を実施している。

私達は、フィリップ・M. セング会長（日本滞在6年でアジアの牛肉事情通）からUSMEFの活動情況について説明があったので、その概要を報告する。

### 1. 設立の経緯

1970年代から牛肉にかかわらず、外国から肉の輸入が増加してきた。生産者は、どこの国でも同じであるが輸入したくないという心情があった。ミートパッカー、養豚生産者、牛肉生産者が発起人となり、1976年設立したのが、この連合会の初まりである。

### 2. 目的 (活動)

個々の商品や会社を売り込むことはせず、海外の顧客と会員である畜産関連企業との間の接触、交流及びサービスの場を多くし、牛肉・豚肉・ラム並びに内臓肉といった米国産食肉の海外での消費を拡大するためのチャンスを助長することが目的となっており、次のように要約されるとともに、それが連合会の活動にもなっている。

- (1) 米国のすべての食肉及び畜産製品に関する市場調査、教育、宣伝を通じて米国産食肉、畜産製品の消費を国際的に高める。
- (2) 会員及び関連する全ての業者と協力して、海外への市場発展へ導く。
- (3) 食肉及び畜産製品の統一、国際規格の拡充に努め、海外取引の実務水準の引上げを図る。
- (4) 食肉及び畜産製品に関連する情報を提供し、地方自治体、州、合衆国政府や外国政府などの機関に協力し、海外取引の利点を明示する。

### 3. 組織

組織のメンバーは、全米肉用牛生産者協会、全米食肉協会、パッカー、牛・豚・羊の生産者団体など多岐にわたっているが、会員数は明らかにされなかった。

職員数は、本部18名、東京などの出先機関を全て合わせると約50名と、AMLE（オーストラリア食肉畜産公社）に比べると、輸出に関する仕事のみであるから、組織的には小さい。

本部は、牛肉、豚肉、ラムの輸出に関する3部門が中心となっているが、近年、輸出関連業者、農事産業、飼料会社などのかかわりをもつセクションの活動が活発化している。

### 4. 予算

USDA、ビーフカウンセル（州にある団体）、ナショナルチェックオフプログラム、養豚生産者団体、パッカー等の会員からの助成金が資金源となっており、総額5,500万ドルとのことである。

その内の4,000万ドルが、USDAからのTEA資金である。

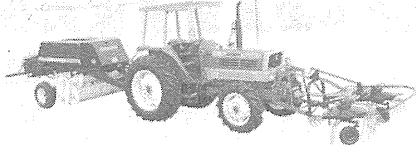
TEA資金＝特定輸出助成資金

米国の輸出が損われている特定の海外市場に対して、特定農産物の輸出促進を図るため、米国の生産者などが行う海外市場における宣伝広告などの活動に対し、政府が補助する制度で、農産物全てに対し10億ドルが補助されるもので、その内4億ドルが日本への輸出に関するもので、4,000万ドルが食肉の輸出に対する連合会への補助金である。

次回は、日本事務所の活動とQ&Aを報告します。  
(宮城県農業経済課共済係長)

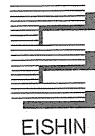


# WORLD 五十嵐商会



株式会社 **五十嵐商会**

仙台市若林区卸町五丁目1番地4  
電話 (022) 236-2525 (代表)



クスリの総合卸

株式会社 **エーシン**

取締役社長 山田 修造

本社 (畜産課) 仙台市若林区卸町2丁目10-3

☎(022) 284-8111 FAX (022) 284-8127

古川市福浦字道の137-1 ☎(0229) 24-1211

# 東北6県ホルスタイン 共進会開催について

## 宮城県畜産農業協同組合連合会

第10回東北地区ホルスタイン共進会が、下記開催要領にて開催されますので酪農家の優秀牛を出品されますようお願いいたします。

### 1. 目的

ホルスタイン種(系)牛の体型、資質、能力の向上を図るため、乳用牛の改良事業推進による成果を見極め、今後の改良方向の指針を求めると同時に生産効率の拡大を進め、併せて一堂に会した酪農家の交流と後継者育成の場として活用し、もって堅実な酪農家の伸展を期す。

### 2. 名称

第10回東北地区ホルスタイン共進会

### 3. 主催

東北地区ホルスタイン改良協議会

### 4. 後援

農林水産省、東北農政局、東北各県、東北各県ホルスタイン改良同志会、(社)日本ホルスタイン登録協会、地方競馬全国協会

### 5. 開催期日

平成3年9月27日(金)より9月28日(土)までの2日間

### 6. 開催場所

岩手県岩手郡雫石町22地割字七ツ森16の6  
岩手県経済農業協同組合連合会中央家畜市場

### 7. 出品範囲

東北一円

### 8. 出品頭数

150頭

### 9. 出品区分

以下のとおり。

部 別	区 分	頭数
第1部	12ヶ月以上16ヶ月未満 未経産牛 母は乳脂量指数180以上、又は検定中	25
第2部	16ヶ月以上20ヶ月未満 未経産牛 同	25
第3部	20ヶ月以上28ヶ月未満 未経産牛 母は乳脂量指数180以上	20
第4部	2歳以上 3歳未満 経産牛 乳脂量指数180以上、又は検定中のものは母が乳脂量指数180以上	20
第5部	3歳以上 4歳未満 経産牛 同	20
第6部	4歳以上 5歳未満 経産牛 乳脂量指数180以上	20
第7部	5歳以上の経産牛 同	20
第8部	乳器 [初産泌乳中のもの、2産以上泌乳中のもの]	12
第9部	多回検定 3回以上検定を受け3回の平均乳脂量指数175以上	10
第10部	母系群 母を同じくする娘牛2頭1組乳脂量指数180以上、但し娘牛は検定中のものを含むことができる。この場合は母が乳脂量指数180以上	5組

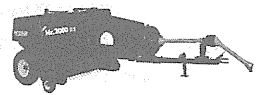
注) 産次の算定は種付け日を含めて180日以上で早産又は流産したものは1産次とみなす。

宮城県出品予定頭数20頭

(事業部長 高橋 亮)

より豊かな明日の農業のために

# STAR



頼もしい働き者  
牧草梱包稲わら梱包に!!

Mr1000 Mr2000DX  
Mr3000DX、Mr4000DX

へーべーラTHB2020

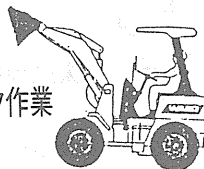
## STAR-農機株式会社 仙台営業所

9 8 5 多賀城市町前 2 丁目87 TEL022-367-4573

FAX 367-4846

# KOMATSU

カンタン操作で、  
飼料も堆肥もラクラク作業



## 宮城小松販売株式会社

仙台市宮城野区扇町二丁目1の30  
電話(022)(237)7441番代

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

# 小田島商事株式会社

本 社 岩手県花巻市卸町66番地  
TEL 0198 264151代

古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1  
TEL 0229238388代

花巻営業所	水沢営業所	青森営業所
盛岡営業所	大館営業所	八戸営業所
大船渡営業所	横手営業所	山形営業所
酒田営業所	福島営業所	



## < 畜試便り >

### 畜産試験場における平成3年度試験研究計画

牛肉の輸入自由化の実施に伴い畜産経営は、国際化に対応し十分自立できるような体制を早急に確立することが緊要であります。

このためには新技術の開発やより能力の高い家畜への改良をはじめ低コスト飼料資源の確保が必要であり特に育種改良におけるバイオテクノロジーの応用技術生産コスト低減技術、高品質畜産物を生産する技術等の開発が急務であります。

このことから畜産試験場では、受精卵関連新技術の開発と利用により家畜の能力向上や生産性向上を図りながら畜産農家に技術や情報の提供を行います。

畜産試験場の主な試験内容は次のとおりです。

#### ア. 酪農肉牛

乳牛については、生乳生産のコスト低減を図るため地域飼料資源の活用を図りつつ高品質生乳の生産技術並びに高能力牛のほ育、育成技術に関する試験研究を推進します。

肉牛については、国際化に対応し、低コスト牛肉生産をねらいとした交雑種の利用及び生産効率を高める双子生産技術を検討すると共に農家所得を向上するための産肉情報の分析と最適な肥育管理条件の検討に関する試験並びに県内で利用される種雄牛の遺伝的産肉能力の検定を推進します。

受精卵関係については、正常受精卵の安定生産技術と凍結保存技術の検討、双子の成立要因解明による子牛生産効率の向上に関する試験並びに体外受精による未利用卵子の活用技術、核移植によるコピー牛生産に至る基礎技術の検討に関する試験研究を推進します。

#### イ. 種豚家きん

種豚家きんの能力検定、系統豚“ミヤギノ”の原原種を維持し、普及利用を有効に図るための基礎的育種改良をはじめ、バイオテクノロジー等新技術を活用した豚の改良、増殖に関する技術開発、系統豚を利用した

交雑豚の生産性向上を目指した地域環境条件を踏えた低コスト生産技術、高能力を発揮させる飼養法と高品質豚肉並びに特殊家きん肉の生産技術の確立に必要な試験研究を推進します。

#### ウ. 草地飼料

草地飼料については、自給飼料の低コスト高位生産と高品質粗飼料の安定確保を図るため転換畑飼料作物を含めた優良品種の選定、栽培調整技術の確立、気象と飼料作物の生産特性との関連の解明等についての試験研究を推進します。

環境資源関係については、飼料素材の有効活用を図るため、低未利用資源の飼料化並びに混合飼料の調整貯蔵システム化と流通技術の開発、又堆肥肥連用圃場でのミネラルバランスの改善技術の解明等についての試験研究を推進します。

以上主な試験研究内容について概要説明しましたが当試験場ではこの他にも種々試験研究を実施し飼料生産から畜産物の生産まで一貫した流れの中で高生産性畜産技術の確立を推進してまいります。

#### 平成3年度重点課題

1. 高品質生乳生産の飼養管理技術の確立
2. 放牧による肥育素牛の低コスト育成技術の開発
3. 効率的な高品質牛肉生産のための飼料給与方式の確立
4. 牛体外受精に関する研究
5. 寒地・寒冷地における系統間交雑豚の季節対応飼料給与方式の確立
6. ランドレース系統維持群の飼養方法に関する試験
7. 豚の受精卵移植技術に関する試験
8. 転換畑飼料作物栽培調整技術体系の確立
9. 飼料作物・牧草適応品種の選定
10. 低未利用資源の飼料化技術の確立

(乳牛科長 小野寺千一)

**ORION**  
ともに前進 技術のオリオン

**酪農家の**

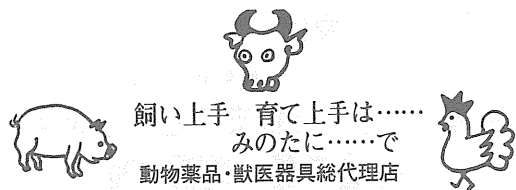
声を反映した製品づくりと安心の  
おけるアフターサービスは  
オリオングループの誇りです。



**東北オリオン株式会社**

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691

宮城営業所 古川市福浦字道の106番1号  
☎989-61 TEL古川(0229)23-1631



飼い上手 育て上手は……  
みのたに……で

動物薬品・獣医器具総代理店

株式会社 **美濃谷**

本 山 店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL ☎3121  
山 形 店 仙台市太白区山田字羽黒堂5番216 TEL ☎4306  
仙 台 店  
鶴 岡 店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL ☎240963

## 日本脳炎について

### 仙台家畜保健衛生所

日本脳炎ウイルスは、人、馬に高い感受性を示し、発症すると脳炎を起こします。この他、牛、豚、山羊、羊にも感染しますが、これらの動物では特に臨床症状を示さない不顕性感染の状態となります。しかし妊娠中の豚が感染した場合、死産産を起こし、雄豚の感染は造精機能の減退等の繁殖障害の原因となります。さらに、日本脳炎ウイルスは豚の体内でよく増殖し、多量のウイルスが血液中に存在することとなるため、感染豚は本病の増幅動物となり、畜産はもとより公衆衛生上も大きな問題となっています。

日本脳炎ウイルスは、蚊の吸血により伝播され、我が国では水田等で発生するコガタアカイエカが重要な媒介蚊となっています。夏期にウイルスは、蚊→豚→蚊の形で増幅され、人や妊娠豚に伝播されていきます。

妊娠豚の感染では、多くの場合、前駆症状を示さず突然死産産を起こします。子豚は正常なものから、白子、黒子、ミイラ胎児等多様で、また、生後死亡するものは、神経症状を高率に示します。

種雄豚が感染すると、造精機能の低下、奇形精子、無精子の出現等がみられます。

わが国では、近年減少傾向にありますが、人が感染した場合では、潜伏期4～21日の後突然発熱し、頭痛、嘔吐、続いて意識障害、精神障害を起こし、多くの場合死亡しますが、治癒しても後遺症が認められます。

本病の予防には、日本脳炎と同様死産産の原因となる豚バルボウイルスとの混合ワクチンが開発市販されていますので、是非ワクチン接種を励行し、養豚経営の安定向上に役立てていただければ幸いです。

(病性鑑定課 鈴木正浩)

## 人の動き

宮城県生乳販売農業協同組合連合会  
新採用(平成3年5月15日付) 村田孝志(指導課)

## 随想

### 「気分」よく生きたい

◆緑まぶしいGWの一日、妻と北山にある輪王寺に出かけた。輪王寺は伊達家の居城と共に移り、1602年この地に建立された。寺格は伊達家一門と同格で、現在の庭園(輪王寺禅園)は明治時代に再建されたもので、仙台一の名園として親しまれている。

庭園を見るには200円を入れないと通ることのできない自動改札口(機)がある。この自動改札口はお金を入れない人は「通さないぞ」と威張っているようで、庭園の入り口にしては人間味がなく、一瞬、ためらいを感じた。その点、市営地下鉄の自動改札口は、通せんぼするものが見当たらないのでよい。「どうぞ、お通り下さい」といつている。

◆国内にある自動販売機の普及台数(平2年12月)は540万台、自販金額は5兆8千億円のマーケットである。全国の農業総産出額は10兆5千億円であるから、その半分に匹敵する一大産業ともいえる。

◆現代は科学万能、情報化の時代であり、あらゆる点で効率性が追求され、暮らしは便利になっている。人間味のある機械はよいが、両手をひろげ通せんぼしている自動改札口は「気分」がよくない。いま、科学技術にとって一番大切な問題は、人間の心をいかに技術や商品に入れ込んでいくかにあるのではないか。

◆時代劇が受けている。NHK大河ドラマのあの「独眼竜政宗」は大変な人気だったし、「太平記」も視聴率は高い。それは、現代のような機械文明から隔って生きてきたからこそ、輝いていた彼らの知恵や勇氣、愛情が、「人間」そのものだから見る者を惹きつける。


◆自動改札口を抜けると、新緑の輪王寺庭園が広がっている。古い松林を借景に、池と松と三重の塔の調和がよい。輪王寺の東側に資福寺、覚範寺、青葉神社と続くなだらかな一帯は、静寂で、別天地の感があり、「気分」がよい。(宮城県畜産課 近藤康弘)

ビフィズス菌は  
ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。  
活きたまま腸までとどきます。

**ビヒダス**<sup>®</sup>  
ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社  
名取市飯野坂五丁目1番3号  
☎(022) 384-5181

TCMプロフィットローダ



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。  
畜産農家の近代化に  
作業の省力化に大きく貢献します。  
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社  
東北ティール・シー・エム株式会社  
983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1  
電話 022-259-6351